



第69回江別市民文化祭特集



第69回市民文化祭ポスター



「あいさつ」

江別市文化協会 理事長 藤田 昌之

光彩二十二号の発行にあたり一言ご挨拶申し上げます。

江別市文化協会の加盟団体は、それぞれの団体がいずれも優れた指導者を

中心に、会員の方々の熱意と善意によって結ばれ、しかもそれぞれの分野において個性的な文化活動をされるとともに強力な組織のもとに、江別市の

文化の向上に貢献しておられますことに敬意を表する次第です。

当協会の加盟団体は大小の約百団体がありますが、活発な文化活動を推進しているものもあり、また特色ある文化団体もあり、また全国的な連合組織に基づいてこれらの会員によって、短歌や俳句や川柳の機関紙も発行され、あるいはまた郷土文化や児童文化の推進さらには、絵画、書道、華道等きわめてバラエティーに富んでおります。

こうした世界に、真・善・美を求め人間性を豊かにしてゆくことは、不安定な現実社会を生きるためには最も大切なことであると思います。

先人の方の築いた江別市の伝統文化を継承して地域に愛され、地域を元気にする文化活動を会員相互の協力で実施していきたいと思えます。

第六十九回江別市民文化祭開会式次第

令和四年十月八日(土) えぼあホール
主催／NPO法人江別市文化協会
共催／江別市教育委員会

- 一、開会(司会) 江別市文化協会専務理事 石田 武史
- 二、挨拶 江別市文化協会理事長 藤田 昌之
江別市教育委員会教育長 黒川 淳司
- 三、来賓ご紹介 江別市民芸術文化功労賞 安藤 旺華様
江別市民芸術文化奨励賞 文京台一輪車クラブ様
- 四、表 彰 江別市水道事業管理者 渡部 文司様
江別市議会議長 宮本 忠明様
旺華流旺吟会代表 安藤 旺華様
- 五、来賓祝辞 江別市文化協会副理事長 加藤 高
- 六、代表者謝辞
- 七、閉会の言葉

第69回 江別市民文化祭 開会式



江別市民芸術文化功労賞

安藤 旺華 (旺華流旺吟会 代表)

【推薦者】

NPO法人江別市文化協会

詩吟・剣詩舞ブロック長 岩間 光鳳

【略歴等】

昭和五十六年、江別市文化協会に加盟し、毎年江別市民文化祭（詩吟・剣詩舞大会）に参加。また、各種レコード会社や、日本吟詠連盟のコンクール、赤レンガ大会、北斗同朋吟友会等に参

加。日本音楽療法学会 認定音楽療法士としても幅広く活動している。なお、江別市文化協会監事としても、平成二十二年から三期六年間の就任歴がある。詩吟・剣詩舞ブロック、ひいては江別市文化協会の発展において、多大なる運営功績を成しており、表彰に値する。

江別市民芸術文化奨励賞

文京台一輪車クラブ (子ども文化ブロック)

【推薦者】

NPO法人江別市文化協会理事

江別子ども劇場代表 佐藤ひとみ

【略歴等】

平成五年会設立後、北海道一輪車マラソン大会、一輪車競技大会に毎回参加。各種目において毎年優秀な成績をあげている。平成二十年に北海道一輪車協会スポーツ賞受賞。令和元年及び令和三年には江別市青少年スポーツ奨励賞を受賞している。江別市文化協会には平成二十三年加盟。こども文化祭に第十七回（平成八年）～第二十二回（平成十三年）、第三十回（平成二十一年）～第四十二回（令和三年）参加。

平成二十七年第二十一回えべつ北海道鳴子まつり「鳴子大賞」受賞。平成二十九年八月、えぼあホールでの第五回ユニサイクルステージ北海道演技発表会主催。平成三十年十月、江別市民会館にて設立二十五周年記念行事開催。平成二十四年より江別市内高齢者施設を慰問して、一輪車演技披露している。一輪車競技や演技を通して、三十年近くにわたり多くの子供達の指導・健全育成に寄与した。各種大会においても優秀な成績を収めている。また、一輪車の楽しさ・すばらしさを多くの市民に披露し普及に努めた活動は顕著でこれからも活動が期待される。